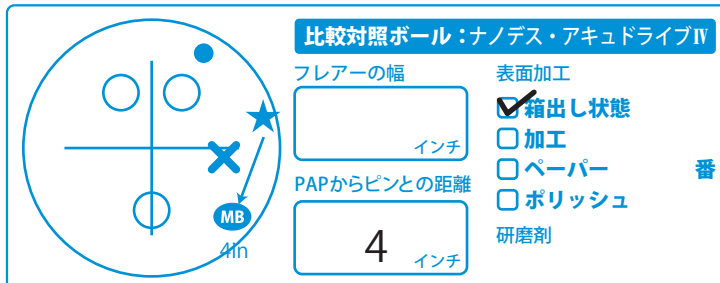
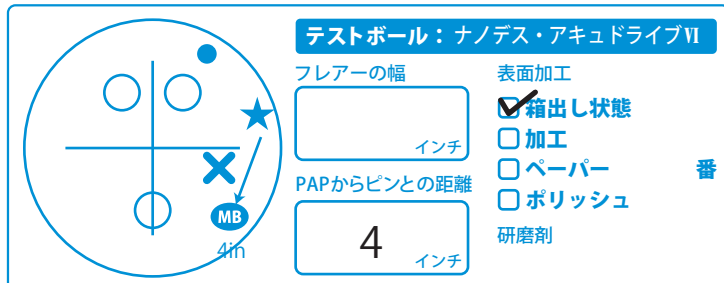


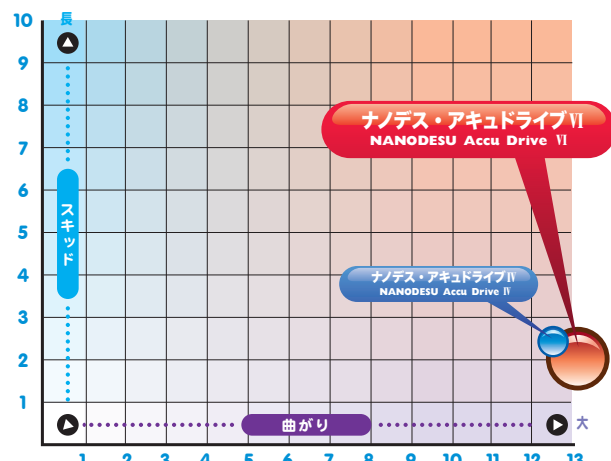
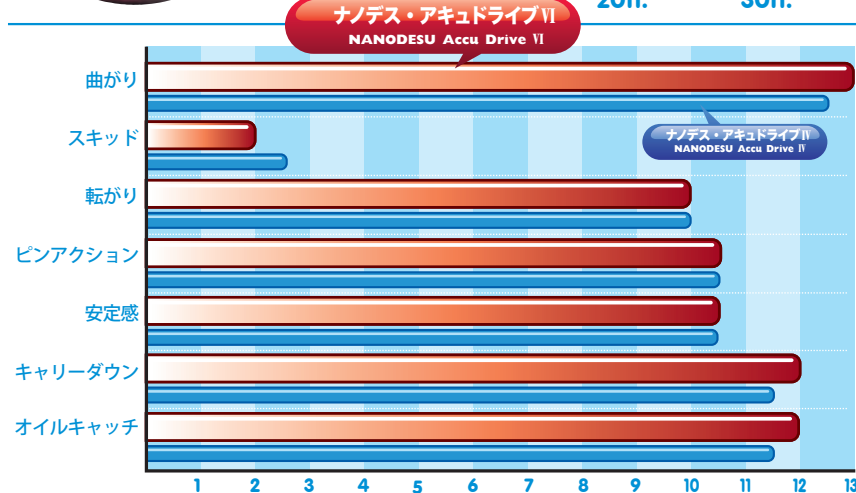
ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名	ナノデス・アキュドライブⅦ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.464	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	



ヘビー
ミディアム
ライト
バフ



ボールの評価

Accu-Driveシリーズに待望の新作「Accu-Drive6」が登場します。今回もシリーズの象徴とも言えるInfinityコアを継承しつつ、最新素材であるNano-Bond 5.0 Pearlカバーストックを搭載。これはツアープレミアム8から採用されたNano-Bond系統の中でも、よりパールらしい走りや鋭い切れを前面に押し出した仕様であり、Accu-Driveシリーズが持つ「安定感の中の爆発力」をさらに進化させています。

Accu-Driveシリーズはこれまで、国内外のトーナメントシーンでも多くの実績を残してきました。中でもAccu-Drive4は、同じInfinityコアとNano-Thane Pearlの組み合わせで高評価を得ており、シリーズにおける認知度をさらに高めた作品となりました。その安定した性能は多くのトッププレイヤーが信頼を寄せるポイントです。今回のAccu-Drive6は、その血統を受け継ぎながらも、最新バージョンのNano-Bond 5.0によって「よりスムーズなスキッド感」と「奥でのクレ味」が際立っています。

Nano-Bond素材は、ナノ粒子を駆使した独自技術により、オイル上での安定性と摩擦力のバランスを絶妙に制御します。一方でパール仕様のNano-Bondは、より走りを活かしつつ、ピン前での加速感を生み出すのが特徴です。Accu-Drive6はその長所を最大限に引き出し、シリーズならではの直進性の高さに加えて、手前のオイルをクリアに抜け、バックエンドで鋭い方向転換を実現。結果として、ストライクゾーンを広く使えるボールへと仕上がっています。

特に評価すべきは、過敏な動きになりがちなパール素材をNano-Bondを併用することで見事に抑え込み、プレイヤーが意図するラインを忠実に描くところです。これにより、ナノデスならではの「粘って切れる」感覚がさらに明確になり、様々なタイプのプレイヤーに対応可能になったと言えるでしょう。

特記事項

オイルに強すぎることなく、ドライゾーンに入った瞬間の反応は力強く、かつ制御性を失わない。
シリーズの歴史を積み重ねた実績に、Nano-Bondの最新テクノロジーが見事に掛け合わされ進化しました。